



# 今井小だより

第6号  
令和4年  
8月31日  
青梅市立今井小学校



今井小HP

## 行動制限のない夏休みが明けて

校長 神尾 健彦

夏休みが終わり、学校に子供たちの歓声と笑顔が戻ってきました。始業式の日、正門のところで子供を迎えていると、「久しぶり。」「校長先生、僕たちに会えるの楽しみだったでしょ?」「夏休み終わるのが早い〜。」と声をかけてくれる子供がたくさんいました。また、2学期も実りある学校生活にしていきたいと改めて思いました。さて、この夏は、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなりました。久しぶりに家族で出かけたり、祖父母のところに帰省するご家庭も多かったのではないのでしょうか。子供たちの思い出話を聞くのが楽しみです。私も宿泊はできませんでしたが、家族で久しぶりに自家用車で出かけたり、外食を楽しんだりすることができました。行動制限がないとはいえ、どこに行ってもしっかりと感染対策が取られていて、社会の中での感染予防の取組が日常として定着してしてきたのだと感じました。

一方で猛暑が続き、熱中症の心配があったり、新型コロナウイルスの陽性者が過去最高になったりもして外出もままならず、大変な思いをされたご家庭もあるでしょう。また、今まさにご苦労されているご家庭もあるのではとないかと案じています。学校が始まり、さらに感染が広がる懸念も専門家等から指摘されているところであります。今井小学校としての取組は、これまでと大きく変更するところはありません。これまで各家庭にお願いしていたことを引き続き実行していただければと思います。

行事や学習活動については9月に予定されている6年生の日光移動教室も現時点では、予定通り実施します。ただ、実施前に6年生において感染が広がってしまった場合は、延期もやむを得ないと考えております。現在の基準では隔離期間が10日と定められておりますので、9月に入ってから6年生の健康状態には十分注意を払っていきます。

2学期が始まるにあたって、学校の中での感染のリスクを減らすために、今一度お願いしたいことを裏面に記しましたので、どうぞご協力をお願いします。

1点、学校の取組において変更点があります。これまで子供が陽性と判定された場合は、ペーパーでのお便りを出しておりましたが、今後はメール配信のみといたします。今後も感染拡大防止のため、ご理解とご協力の程よろしくをお願いします。

始業式では、「どうして学習をするの?」ということについて話をしました。様々な人物が残した言葉を紹介しました。

『学べば学ぶほど、自分が何も知らなかったことに気付く。気付けば気付くほど学びたくなる。』

(アインシュタイン)

『失敗したわけではない。それを間違いだと言ってはいけない。学習したのだと言いたまえ。』

(トーマスエジソン)

学ぶ意味、学ぶことに対する価値観は人それぞれです。正解があるものではありません。しかし、子供がただやらされるだけではなく、学ぶ意味に疑問をもったときは大きなチャンスです。ただやりたくないから、「勉強なんて何の意味があるんだよ。」と言っているだけかもしれませんが、そこで「やらなきゃいけないの!」と強制するのではなく、子供と一緒にその子供なりの学ぶ意味が考えられる時間を大切にしていきたいですね。